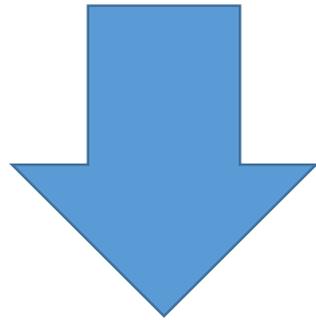


# 主体的に本と関わる生徒の育成 —本を身近なものとする環境づくりを通して—

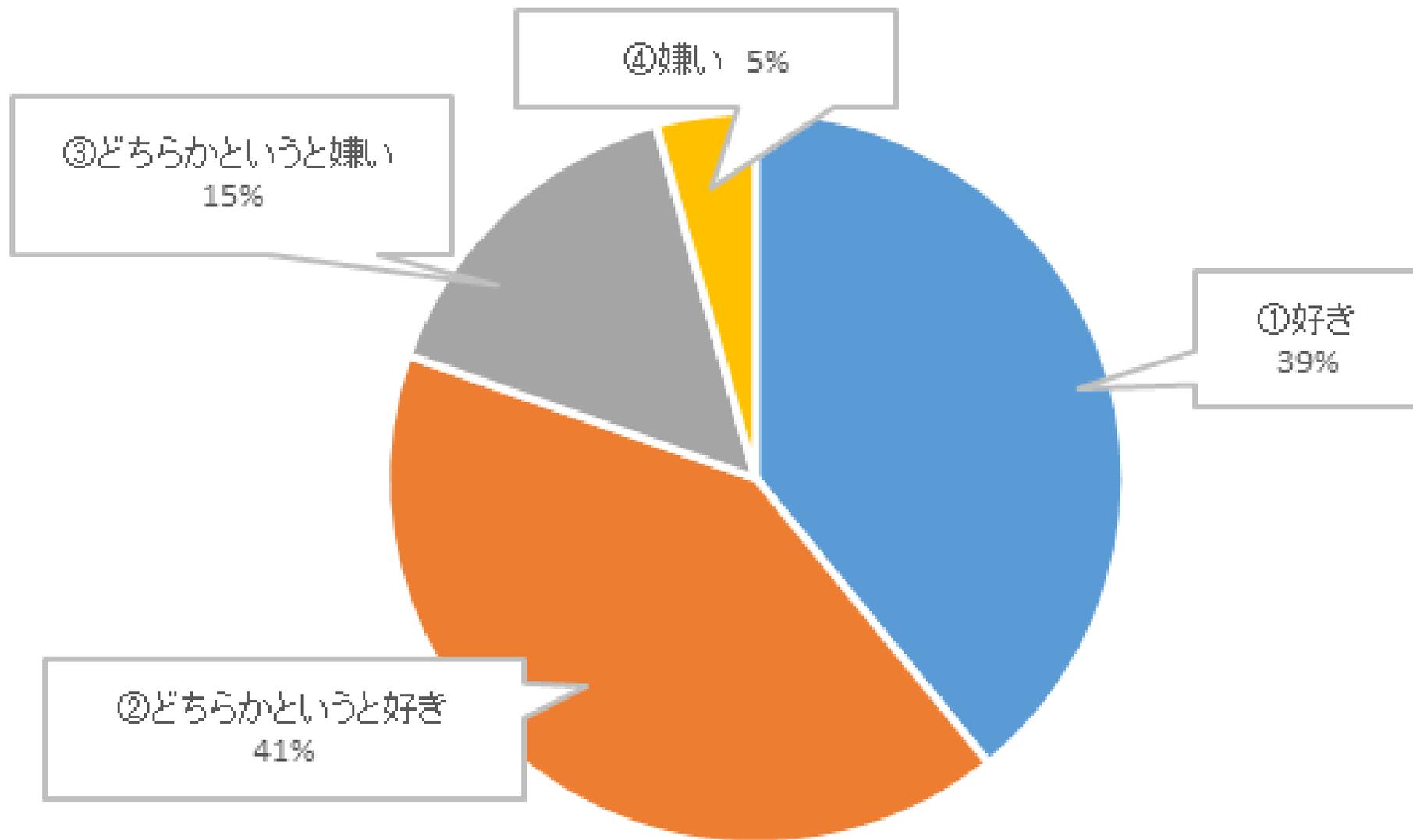


蟹江町立蟹江北中学校  
山田 賢

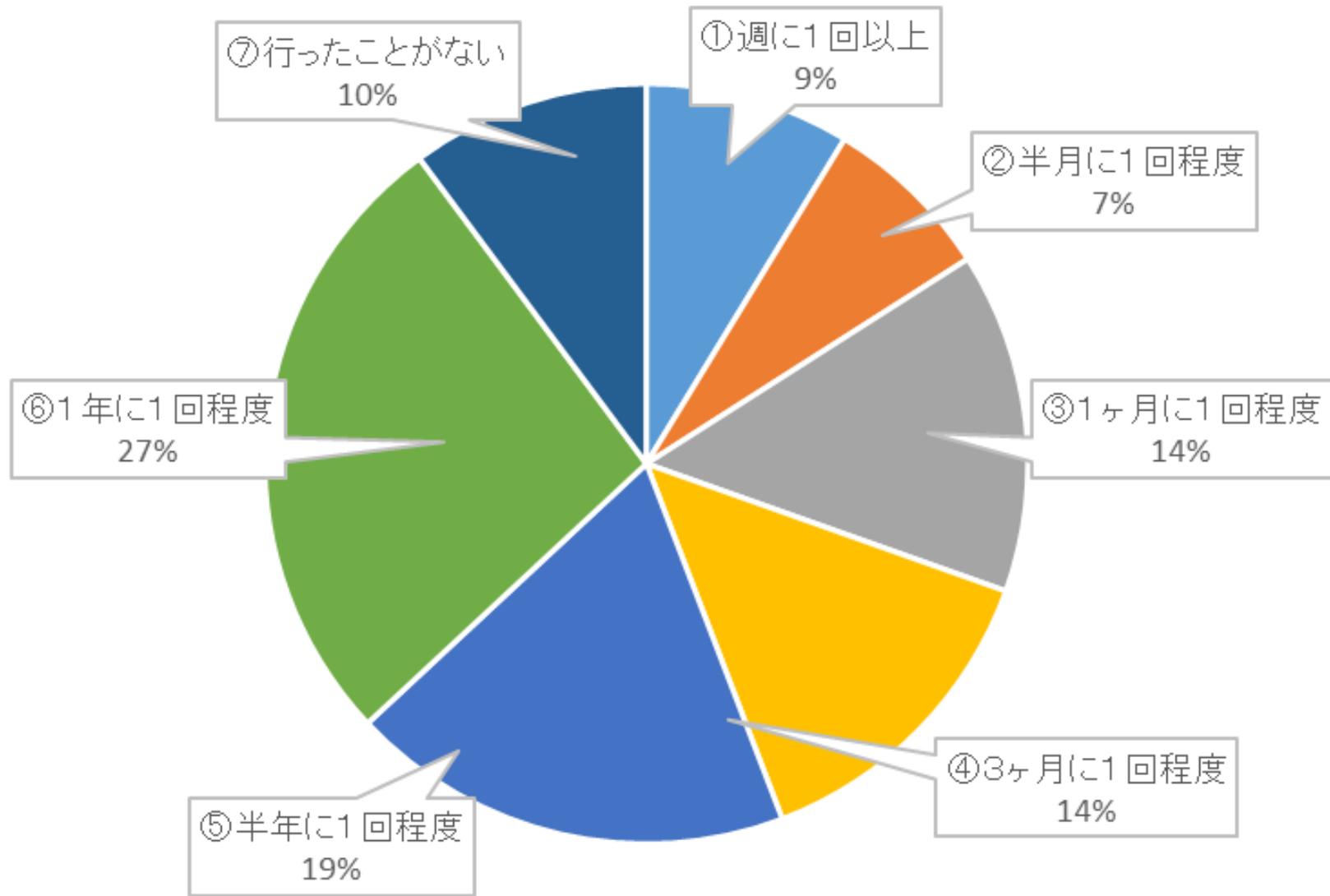
# 学校 図書館



児童生徒の**創造力を培う**  
学習に対する**興味・関心等**を呼び起こす  
**豊かな心**をはぐくむ  
自由な**読書活動**や**読書指導の場**である



## 資料1 あなたは読書が好きか



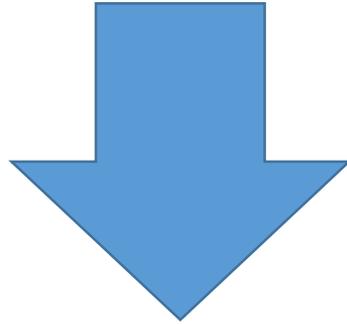
## 資料2 どのくらいの頻度で 学校の図書館に行ったか

# 本校の生徒の実態

- ・全体として**読書は好き**である。
- ・本を**借りに行く頻度は多くない**。  
→借りたい本がない、どんな本がおもしろいのか分からないといった理由から。
- ・本を**話題に話すことはあまりない**。
- ・友達がどんな本を読んでいるか、あまり知らない。  
知る機会がない。

授業内での  
活動

委員会の  
活動



目指す生徒像

主体的に本と関わる生徒

# 仮説1 委員会を利用した活動

図書委員の活動を通じて本についての情報に多くふれることで、生徒は図書館を身近に感じ、図書館へ足を運ぶ機会を増やすことができるであろう。



## 手だて

- ア ポスター掲示と放送による本紹介
- イ 学級文庫の増冊
- ウ POP作製
- エ イベントの開催

## 仮説2 授業内での活動

授業において、生徒が本の魅力を伝え合う活動をすることで、本に対する関心を高め、本と主体的に関わることができるようになるであろう。

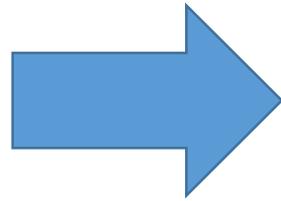


手だて

- ア 本紹介
- イ POP作製
- ウ ビブリオバトル

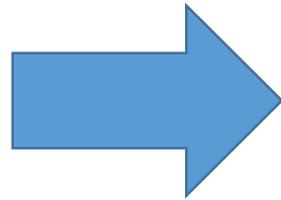
# 抽出生徒

生徒A



- ・読書に対して**意欲的**
- ・国語への学習意欲が高い
- ・図書館へ足を運ぶ頻度が**1年に1回程度**

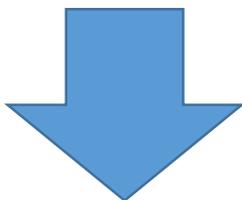
生徒B



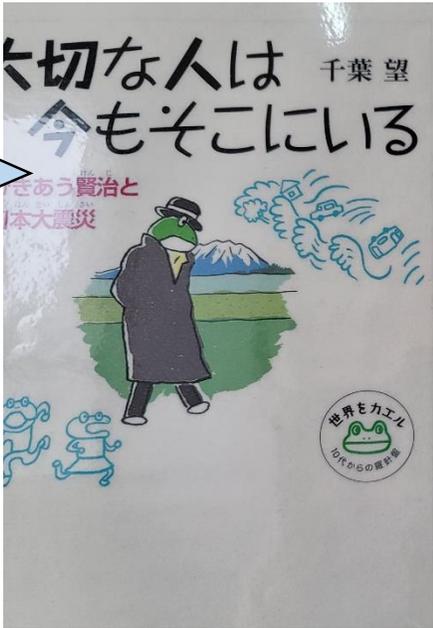
- ・読書が**嫌い**
- ・図書館へ足を運ぶ頻度が**1年に1回程度**
- ・読書や国語の学習を努力したいという思いはある

# ポスター掲示と放送 による本紹介 (仮説1手だてア)

目に留まる  
場所にポスター



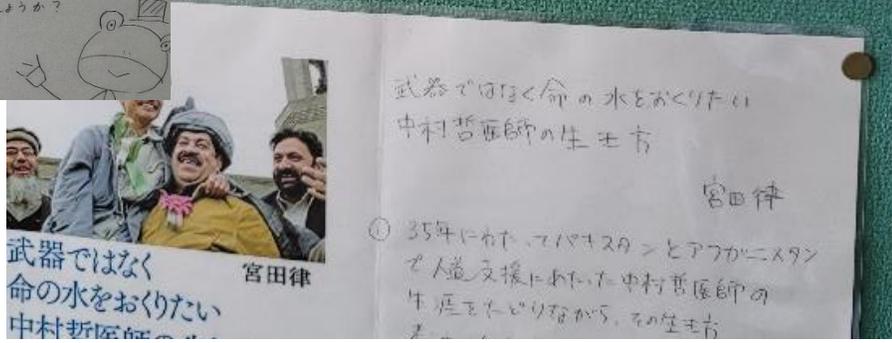
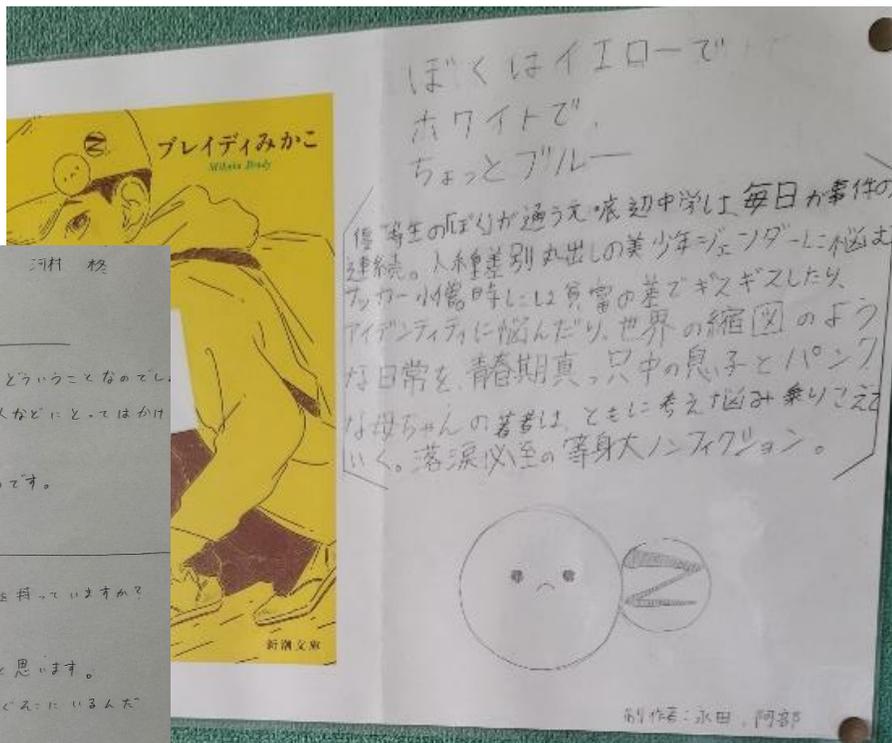
本への興味向上



『大切な人は今もそこにいる』 3c 河村 橋  
千葉 望著

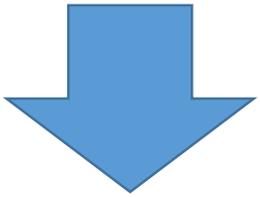
☆ あらすじ  
災害で大事な人と失う、それはいい、たいどういふことなのですか？  
たとえ一人の死であっても家族や恋人などにとってはかけがえない命を失うことです。  
その死が重なる、報道される数となるのです。  
大災時代の死を考える。

みなさんにとって災害はどんなイメージを持っていますか？  
今の世界は平和かもしれません。  
それは過去のことがあっての今があると思います。  
大切な人はかけがえのない存在でそこにいてくれる人と実感できる一冊！  
一度手に取って読んでみてはいかがでしょうか？



# 学級文庫の増冊 (仮説1手だてイ)

普段読まないジャンルの本  
クラスメイトが選んだ本



興味を示すが、  
借りる生徒は少なかった



# POP作製 (仮説1手だてウ)

新作や話題作、おすすめ作品  
を可視化



POPが貼られた本は、  
貼られていない本よりも  
借りる人が増加！



# イベントの開催 (仮説1手だてエ)

図書委員の手製の  
しおり

四季を意識した模様



火曜日・金曜日の昼休みの時間に開館中！  
新作も続々入荷予定！



# 本紹介 (仮説2手だてア)

国語の授業内での  
読書の様子



生徒の発表原稿

先生、頭がおかしくなっちゃったので、今日の体育を休ませてください。この文から物語が始まりました。たつき私はとても驚きました。でも、こんな話なのだろうと読み進めていくうちに、どんな物語にひきこまれていき、いつものまにか読みおえていました。この本の一番良いと思うところは、人生とはスーが口癖の女の子のキャラクターです。自分の意志で、自分の意見をはっきり言うところが私はとても好きです。一匹の猫や、様々な過去を持つ女性たちとの不思議な繋がりにから幸せを探していく物語になっています。皆さんは、人生とは何だと思えますか。ぜひこの本を読んで、考えてみてください。きくと住野よるさんの描く物語にひきこまれていくでしょう。

い  
う  
NICE  
Ruler  
3

<b>本の紹介スピーチ</b>	評価	
	3点(すばらしい)	
	2点(まあよい)	
	1点(いまひとつ)	

【採点方法】①～③の欄に、1～3の点数を記入し、その合計点を計算する。「読んでみたい！」と思った人にはグッド賞に○をつける。

審査の観点 自己評価もする	①	②	③	合計点	グッド賞 ○
	声のききやすさ (大きさや速さ)	目線	内容		
1	2	1	2	5	
2	2	1	3	6	
3	1	1	1	3	
4	2	1	3	6	
5	3	1	3	7	
6	3	2	3	8	
7	3	3	3	9	○
8	1	1	1	3	
9	2	1	1	4	
10	1	1	1	3	
11	2	1	3	6	
12	1	1	1	3	
13	2	2	2	6	
14	1	1	1	3	
15	1	1	2	4	
16	1	1	1	3	
17	2	1	2	5	
31	1	1	2	4	
32	X	X	X	X	
33	3	3	3	9	○
34	1	2	3	6	
35	1	1	1	3	
36	2	3	3	8	
37	2	1	3	6	
38	2	2	2	6	
39	2	1	2	5	
40	3	3	3	9	
41	3	3	3	9	
42	2	2	3	7	
43	2	2	3	7	
44	2	2	3	7	
45	1	1	2	4	
46	1	3	3	7	
47	3	3	3	9	

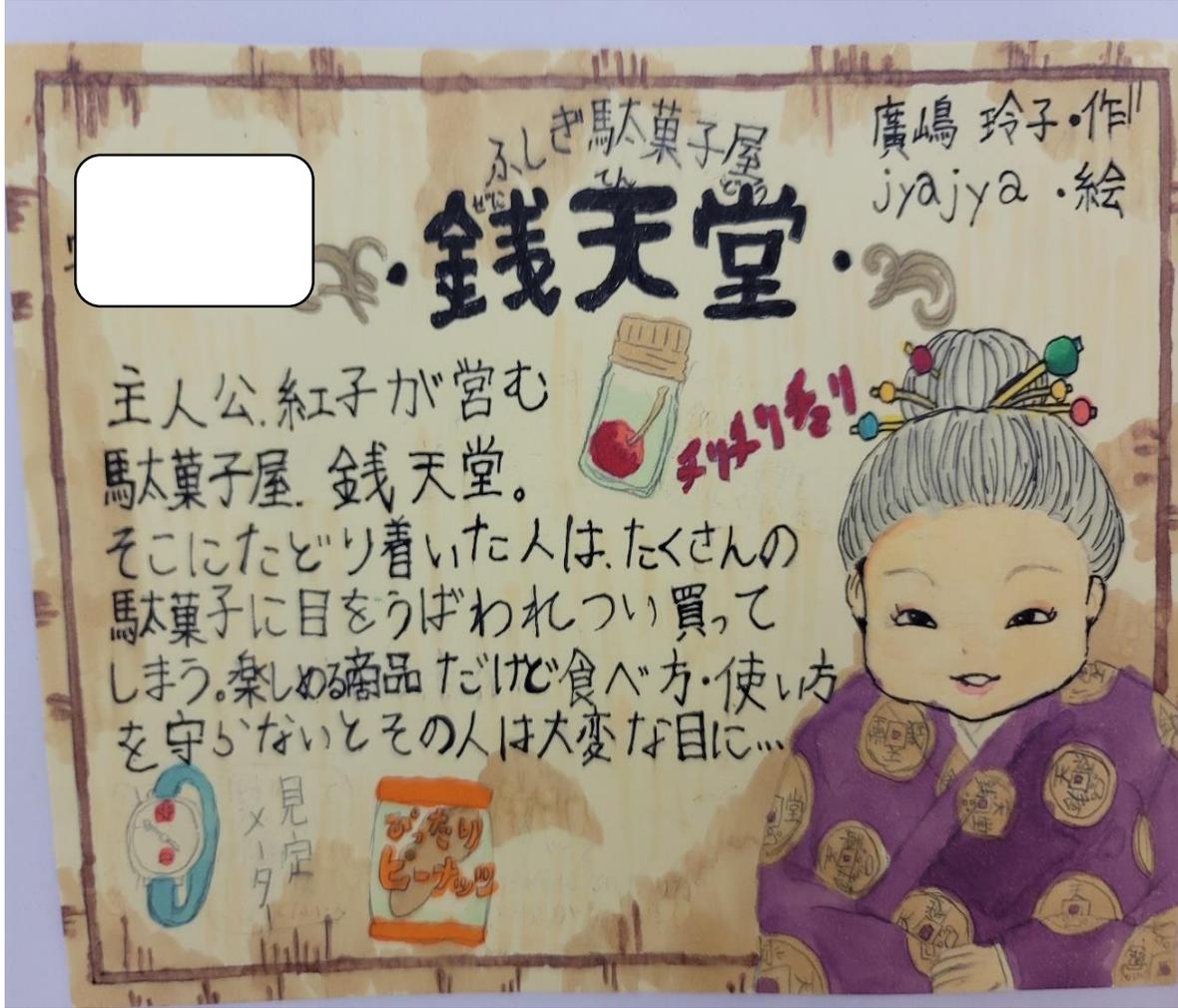
スピーチを終えて感想 (自分の反省や、他の人の発表をきいて思ったことなど)	自分が読んだことがない本の紹介がよかったです。ネタバレにならないぐらいに詳しく具体的に紹介してあるところがいいと思いました。
--	--

**生徒の評価用紙と感想**

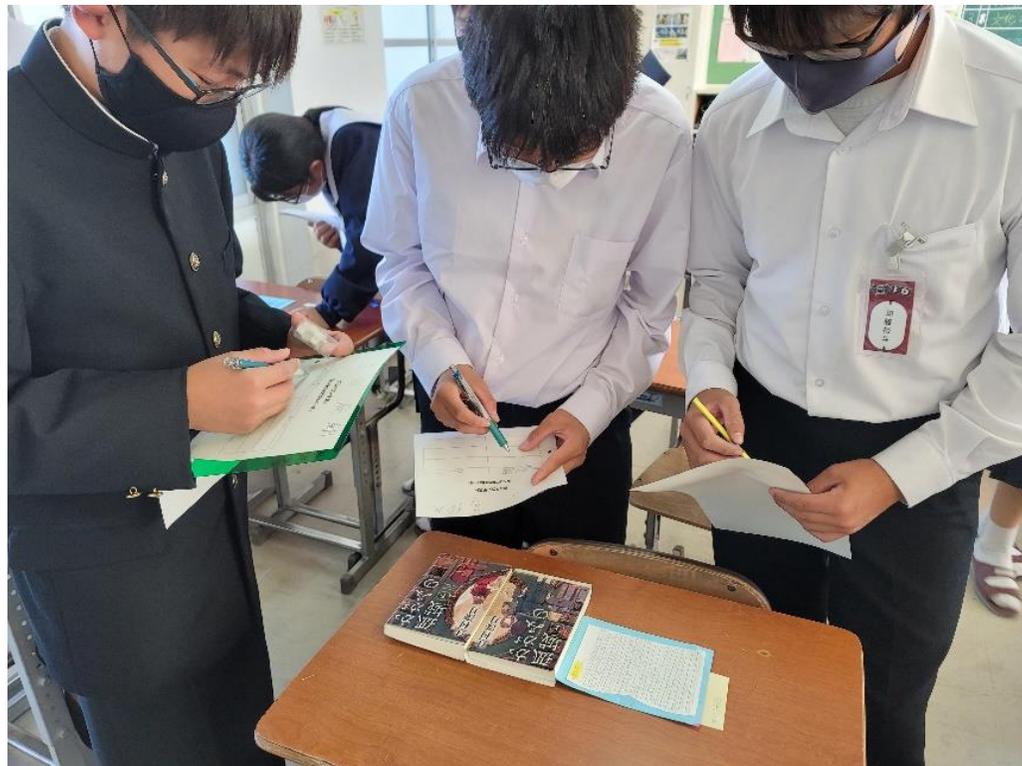
スピーチを終えて感想 (自分の反省や、他の人の発表をきいて思ったことなど)	自分が読んだことがない本の紹介がよかったです。ネタバレにならないぐらいに詳しく具体的に紹介してあるところがいいと思いました。
--	--

# POP作製 (仮説2手だてイ)

生徒が作製したPOPと本



# POPの審査会の様子



# ビブリオバトル (仮説2手だてウ)

## 生徒のワークシート

②本の読みかじり・おぼろげなポイントなどを挙げる  
★具体的「紹介」をキーワード・ページ数をメモして、セリフや表現を抜き出す

読みかじり

登場人物の菊池相原、柿ノ原、安永、大野、日比野、中尾、谷本、宇野、佐竹、秋元の  
二つは習字の河川敷に区役所のグランドから見たる某工機の子会社の解放区  
に一年の組の男子生徒全員の家にきてそこに住んでたところ。  
解放区にあるFM放送が相原が臨時リスとして、誘拐されたぐらいの  
この流れているが解放区が全員のみんなに聞こえてたところ。

FM放送を聞いた一年の組の男子生徒の親も学校の先生が来て男子生徒の男子生徒の  
親が口げんかしてるところ。

2組の男子生徒たちが解放区にきて、対策をばはけて2組の男子  
生徒の親が考えてるところ。

2組の男子生徒は親に爆弾があるという準備をいっているところ。

けさの朝食当番の立石、中尾、日比野の三人でこなすは目玉焼きを  
一個半焼いてパンでガスコンロで目玉焼きも焼いてお皿に盛りつけて

いたんだの夕ローが声も上げて止門に向かて穴を造りいれ相原  
がおい外にたれかきだしてとニコして止門を叩いて

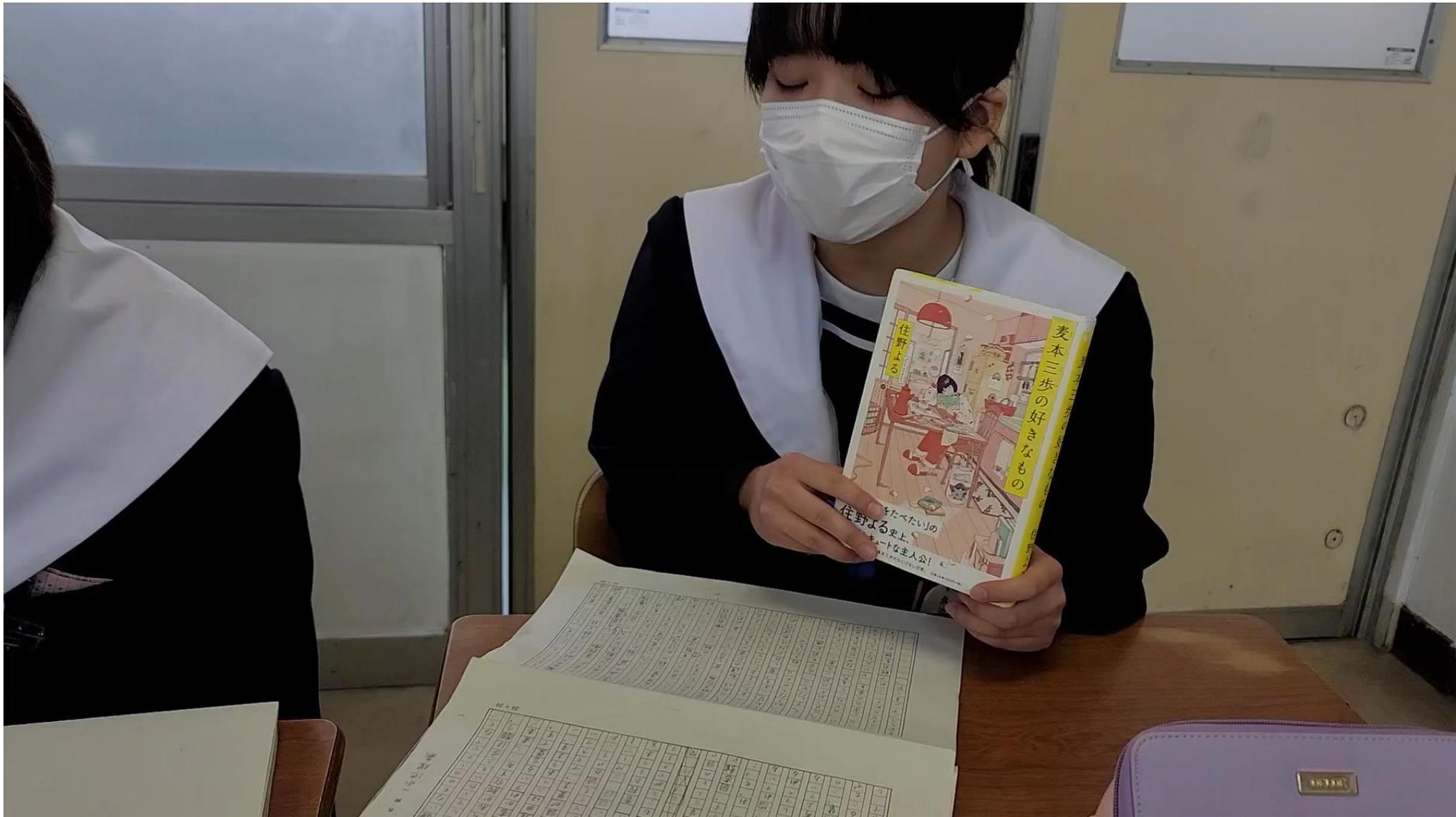
生徒として立石がニコニコだれだど何となくだれだち聞いて、西脇は

とぼろぼろと泣いてる。

# ビブリオバトル (仮説2手だてウ)

## 生徒の原稿用紙

らです。しかも、その短い話には、二ページ  
 三十ページ程しかないのです。普段あまり本を  
 読まない人でも、簡単に読むことができます。  
 ニつ目は、主人公の~~お~~おちよと、~~お~~おちよと、  
~~お~~おちよと、~~お~~おちよと、~~お~~おちよと、  
 出来事などがおもしろいからです。図書館に  
 勤務しているおちよと、おちよと、おちよと、  
 ちよいな三歩が、おちよと、おちよと、おちよと、  
 怖い先輩と、三歩にいつも優しくしてくれる。  
 優しい先輩。そして、いつも何を考えている  
 のか、よく分からない。おかしな先輩。この  
 三トと、三歩の関係性が、お互いを知ることで  
 少しずつ変わっていくのが、読んでいて、と  
 おもしろいかな。たです。とくに、表本三歩  
 は、魔女宅が好きという話では、自分自身に酔  
 った三歩が、普段働いている図書館に、いつ  
 もより派手な化粧をしてきて、完全に優雅さ  
 をはき違え、お昼ご飯にフランスパンを持って  
 きたり、うふふと変な笑いを方をして、優  
 しい先輩を笑い殺しかけながらも、少しおど  
 っこもの三歩らしさを取り戻して、おちよと、  
 おちよと、おちよと、おちよと、おちよと、  
 三歩の好きな物、梁しななことで、おちよと、  
 ます。それは、私達の日常でもあたりまえの



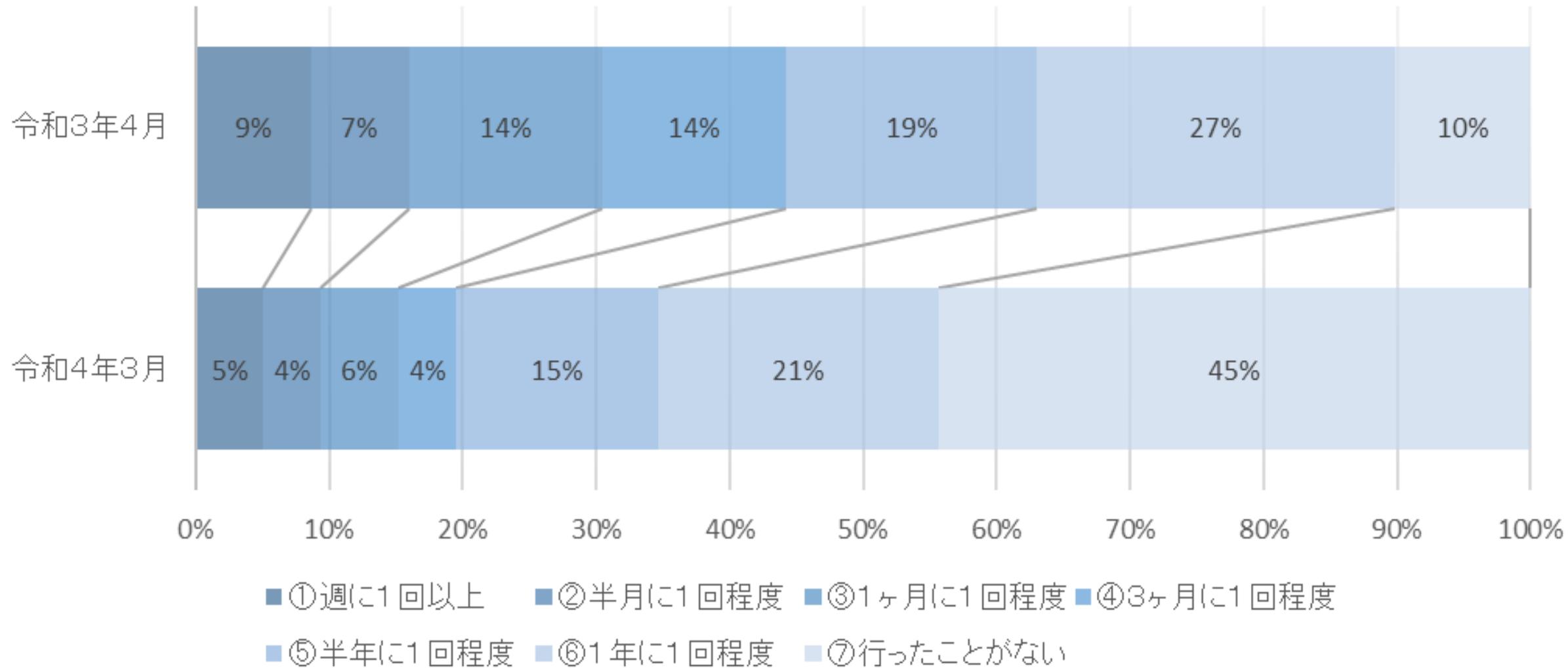
生徒の発表の様子

苦学人に自分からはなしかけるせ、

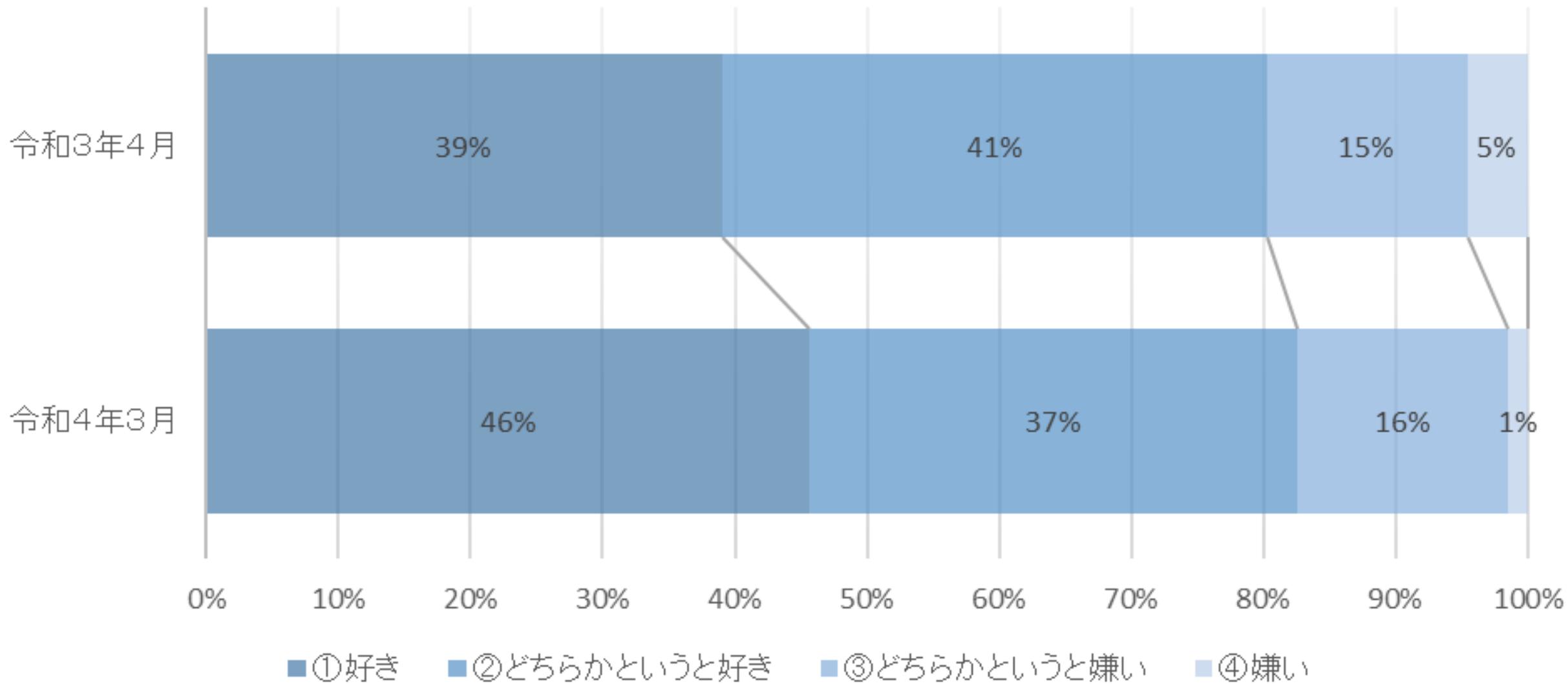
発表者	メモ
①	<p>人は聞き方の害り 5みやあ！ 言語多苦で思ったくない！ 人に言われたこと 深く考えるぞ！</p> <p>聞き方スキルup! 37こつと 筆者の言葉 自己肯定感 否定出来ない</p> <p>ワーク→明確な答え！ 重い空気をクックン！</p>
②	<p>かがみのこじょう</p> <p>学校に居場所がない → かがりにいこまねれる</p> <p>かがり</p> <p>ひかかることなど</p> <p>大広間でフキとフウカはなす</p> <p>映画 2あるの!?</p> <p>ゲーム説明</p> <p>ゲーム映画にたよね ちげふ</p>
③	<p>車云スう 主人公などのこせいのながやつらたのしい!</p> <p>ウェブ→小説やマンガ</p> <p>いせかい! ちてついたらスライムに17回つくる正義感強い!</p> <p>ゴブリン才能と運けはある! 仲間想い! こえいのうきん!? めしマス</p>
④	
⑤	<p>こかい家 ありあ。 ゆういれまち商店街 大黒シシシとなく くらやみくん</p> <p>くらやみふいとうさんと特別なふいとうさん どんがことかおきてもちやみんかといけつ</p> <p>黒皮のまてラックリストとんれいスポーツと丸わがが10K. 1けん中ふきりの音がきこえる</p> <p>↑電車とひいみじさつ...</p>
⑥	

人に見た目のせ  
空感

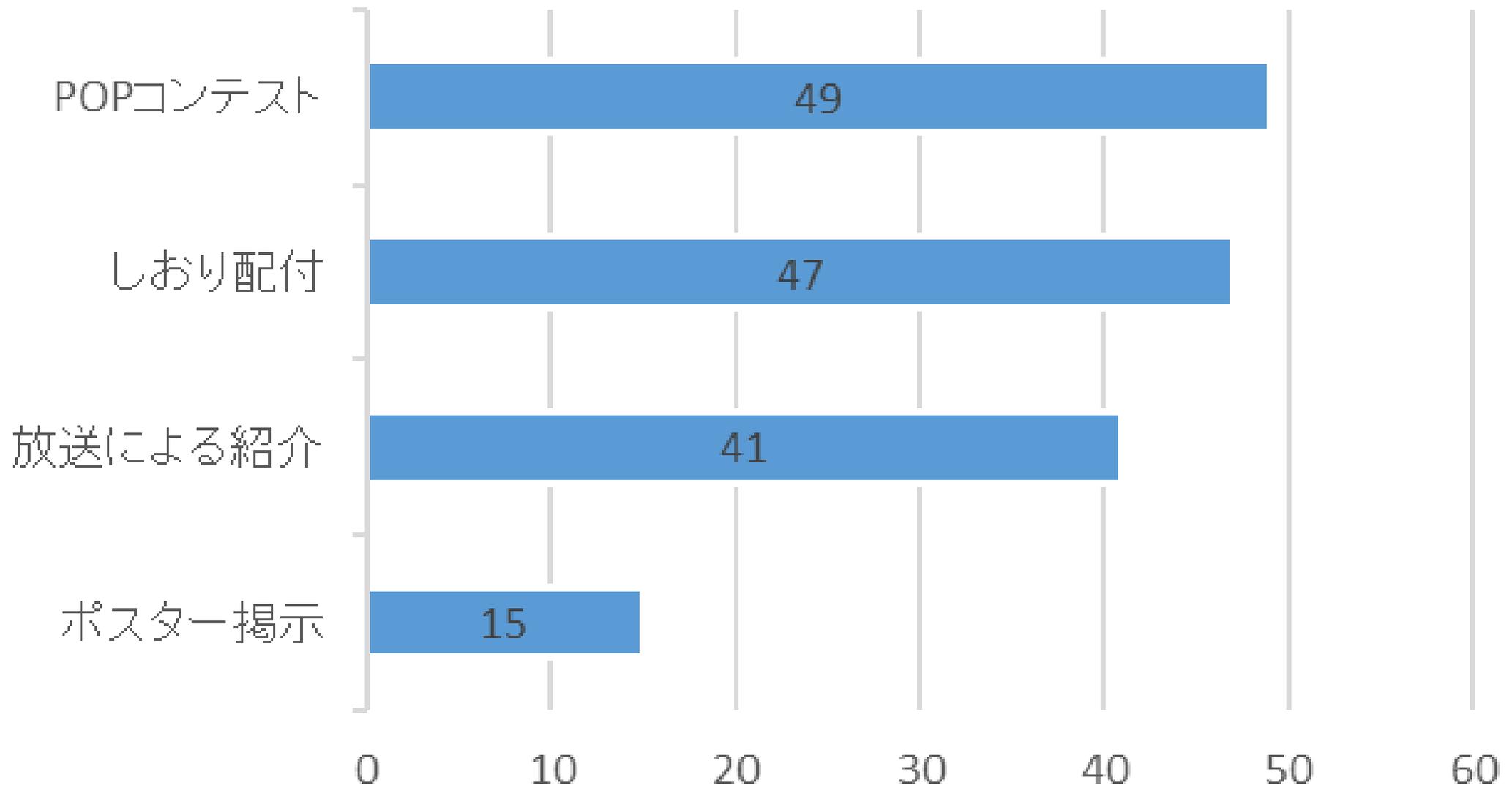
### 資料3 生徒のメモ



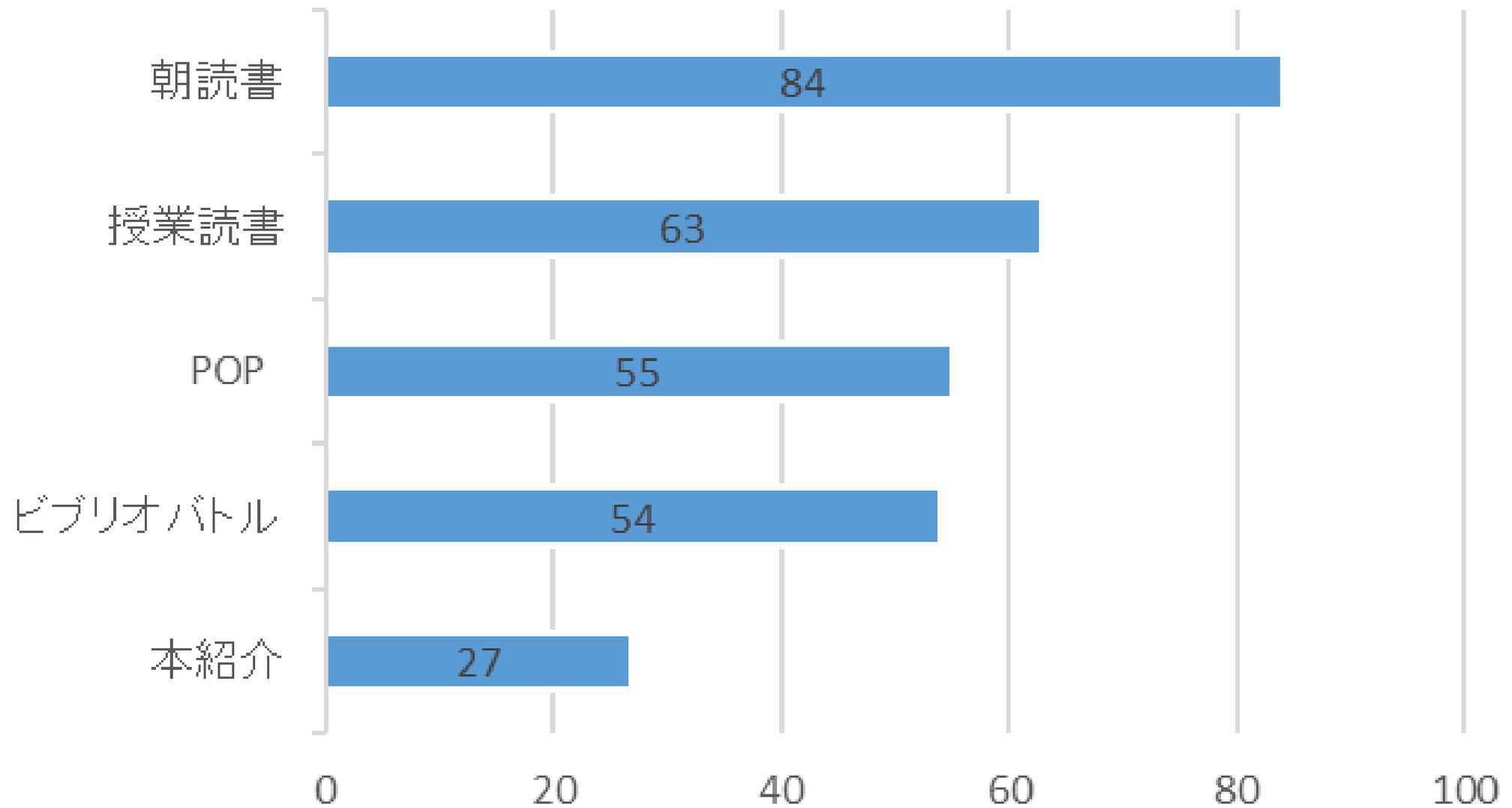
## 資料4 「どのくらいの頻度で学校の図書館に行ったか」のアンケート結果比較



## 資料5 「読書が好きか」のアンケート結果比較



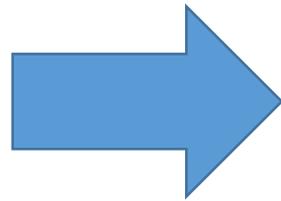
資料6 図書委員会の活動でよかったと感じたもの



資料7 授業を中心とした活動でよかったと感じたもの

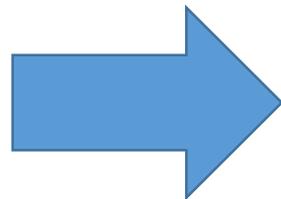
# 抽出生徒の変容

生徒A



- ・読書への姿勢は変わらず**意欲的**
- ・図書館へ足を運ぶ頻度が1年に1回程度から、1ヶ月に1回以上に**向上**

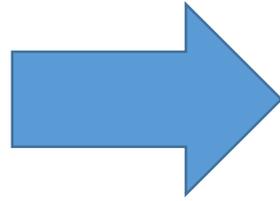
生徒B



- ・読書が嫌いから、**どちらかという好きに変容**
- ・図書館へ足を運ぶ頻度は変化なし

# 研究の成果と課題

継続的に本に関する  
活動の導入



生徒の本への関心UP  
主体的に関わる姿勢の形成

図書館の利用を増やすために、より一層  
身近にする工夫が求められる